



(左) CAE 総合開発センター 研究員

小野一俊 様

(2003 年度 固体2級 合格)

(2005 年度 固体1級 合格)

(2006 年度 熱流体2級 合格)

(2007 年度 熱流体1級・混相流 合格)

(写真なし) 同 プログラムマネージャー

宮崎貞雄 様

現在ご担当のお仕事について教えてください。

小野:CAE (I-DEAS、NX)ソフトウェアの保守・サポート、各種セミナーの実施、導入教育、コンサルティングなどを担当しています。

計算力学技術者資格を取ろうと思った理由は何ですか？

小野:解析業務に携わるうちに、自己啓発の必要性を強く感じるようになったのがきっかけです。資格については上司の紹介で知りました。

合格なさって、ご自身に何か変化はありましたか？

小野:お客様へのご説明の際やサポートの際に、自信を持って取り組めるようになりました。「この項目はどのような理由で設定されているのか？」ということを理解出来たのがとても大きいですね。

宮崎:合格者が学会誌などで発表されるので、社外でも話題になりました。お客様からの信頼が厚くなっているように思えるのが嬉しいです。

試験対策として、どのような学習を行いましたか？

小野:標準問題集の、特に解説部分をじっくり読んできちんと理解することを心がけました。また、標準問題集で紹介されている参考文献にあたるため、週末は図書館に通いました。

かなり標準問題集を活用して下さったようですね。

小野:はい。おかげで熱流体力学全般を満遍なく

押さえることが出来ました。この標準問題集は実際の業務にも応用が利き、リファレンスマニュアルのように活用出来る点が素晴らしいと思います。

計算力学技術者資格の取得を目指す社員に対し、会社としてどのような支援をなさっていますか？

宮崎:当社には「能力開発制度」という社員の自己啓発を促進する取り組みがあります。この制度により、計算力学技術者に関しては付帯講習(技能編)受講料と試験料を全額、会社が負担しています。計算力学技術者以外の講習会などでも、会社の承認によって半額の支援を行っています。

小野:社内に複数の受験者がいる年には、社内勉強会も行っていますよ。

宮崎:また、資格取得を勧めたい社員に試験のお知らせを周知するのは勿論のこと、その際に合格者から呼び掛けを行っています。モチベーションの向上に繋がっているのではないのでしょうか。

これから計算力学技術者試験に挑戦される方へ、アドバイスをお願いします。

小野:ソフトウェアや実験器具が手元にある場合は、標準問題集をテキストとして、実際に比較や確認を行いながら勉強すると理解し易いと思います。社内勉強会や意見交換会もいいですね。いずれにせよ楽しく勉強することが一番です。

ありがとうございました！(取材日:2008/1/25)